

1 外観パース

1-01 南東側外観



1-02 北東側外観



2 基本計画

地域景観と調和し、県民の暮らしに寄り添う、治安維持のシンボルとして計画するとともに、いついかなる時も稼働し続け、県北の拠点となる警察署とします。

3 計画概要

3-01 計画地

所在地	長崎県佐世保市花園町
建築	令和9年度竣工(予定)
敷地面積	約8,400㎡
用途地域	第一種中高層住居専用地域(容積率200%、建ぺい率70%)
地域/地区	法22条区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域 他

3-02 建築計画

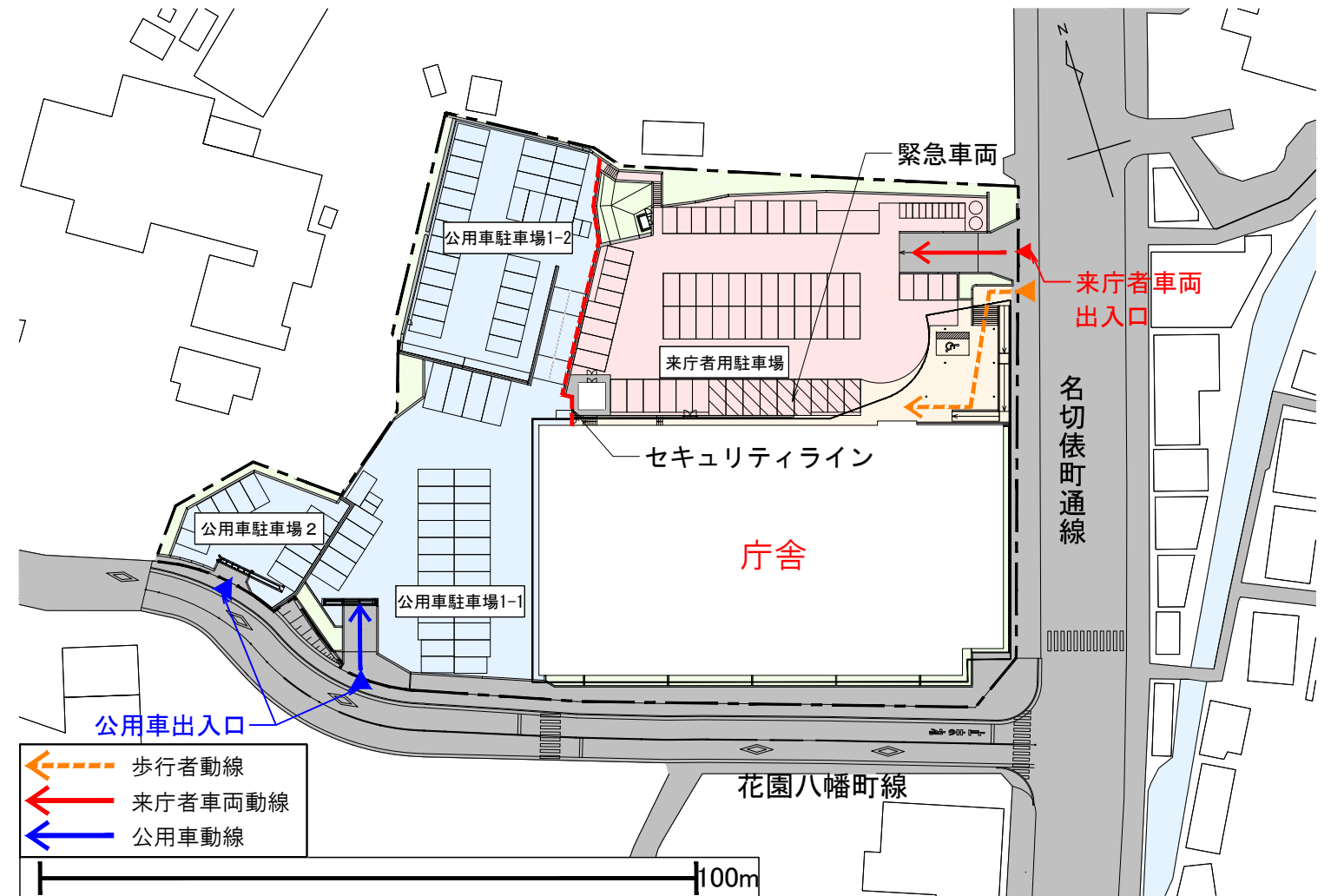
建築面積	約2,950㎡
延床面積	約9,850㎡
階層	地上4階、地下なし
構造	鉄骨造
最高高さ	約28m
駐車台数	公用車(83台)、来庁者(53台)
建設工事費	約71億円

3-03 スケジュール

区分/年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
警察署の設計	●	●				
建設工事 (発注手続きを含む)			●	●	●	●
開庁						○

3-04 配置・動線計画

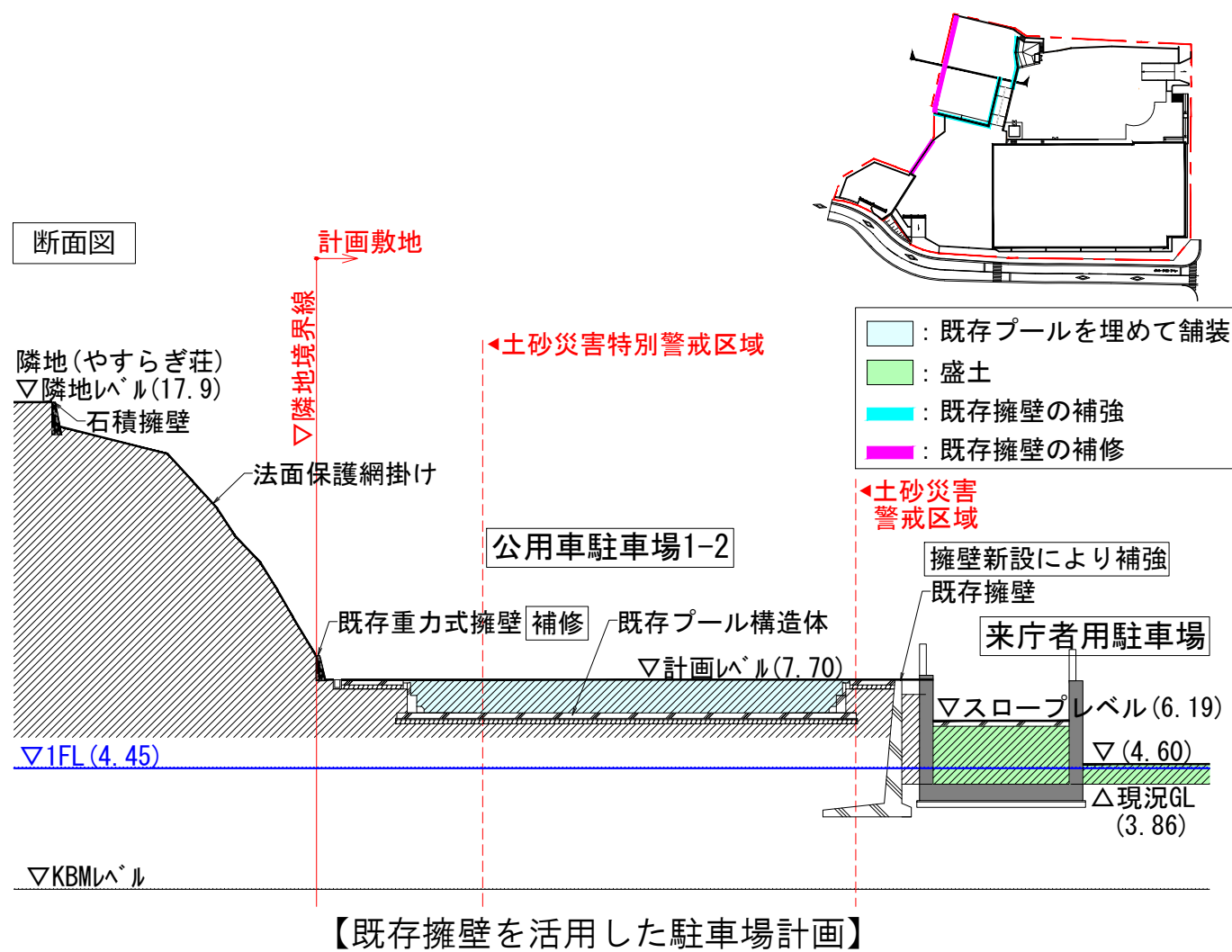
- 前面道路や周辺施設の様子が最も把握しやすい南東角に庁舎を配置します。
- 警察関係車両と一般来庁者車両の動線は出入口から明確に区分し、機動性、セキュリティを確保します。
- 東側道路からエントランスへの経路や身障者用駐車場に庇を設け、来庁者の利便性を高めます。



【配置・動線計画】

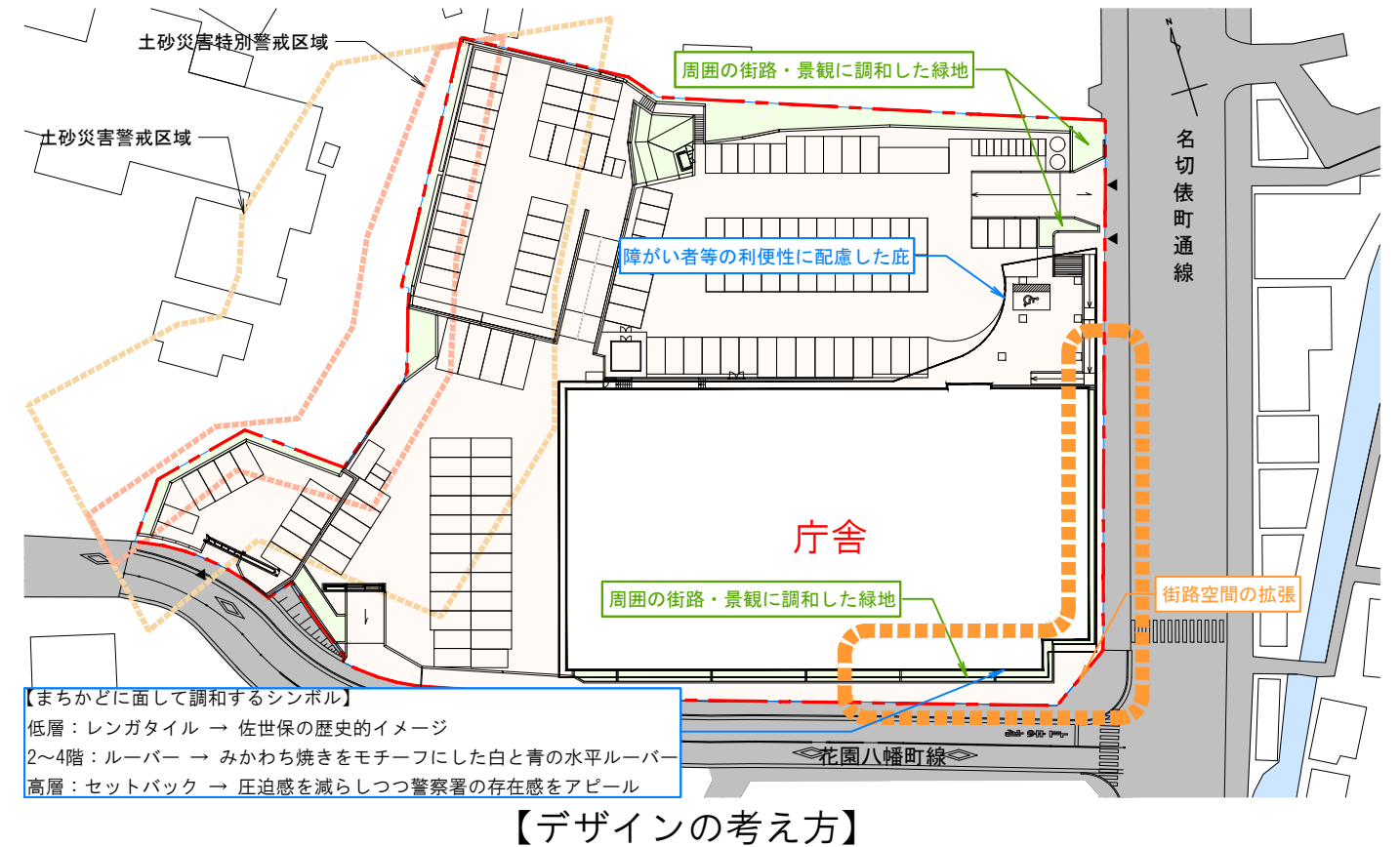
3-05 防災計画

- 防災、治安の活動拠点として、高水準の機動性とセキュリティを確保します。
- 西側既存擁壁の補強・補修を計画し、災害発生リスクを最小化します。
- 庁舎と緊急車両の出入口は土砂災害警戒区域外に配置し、警察機能を継続できる計画とします。



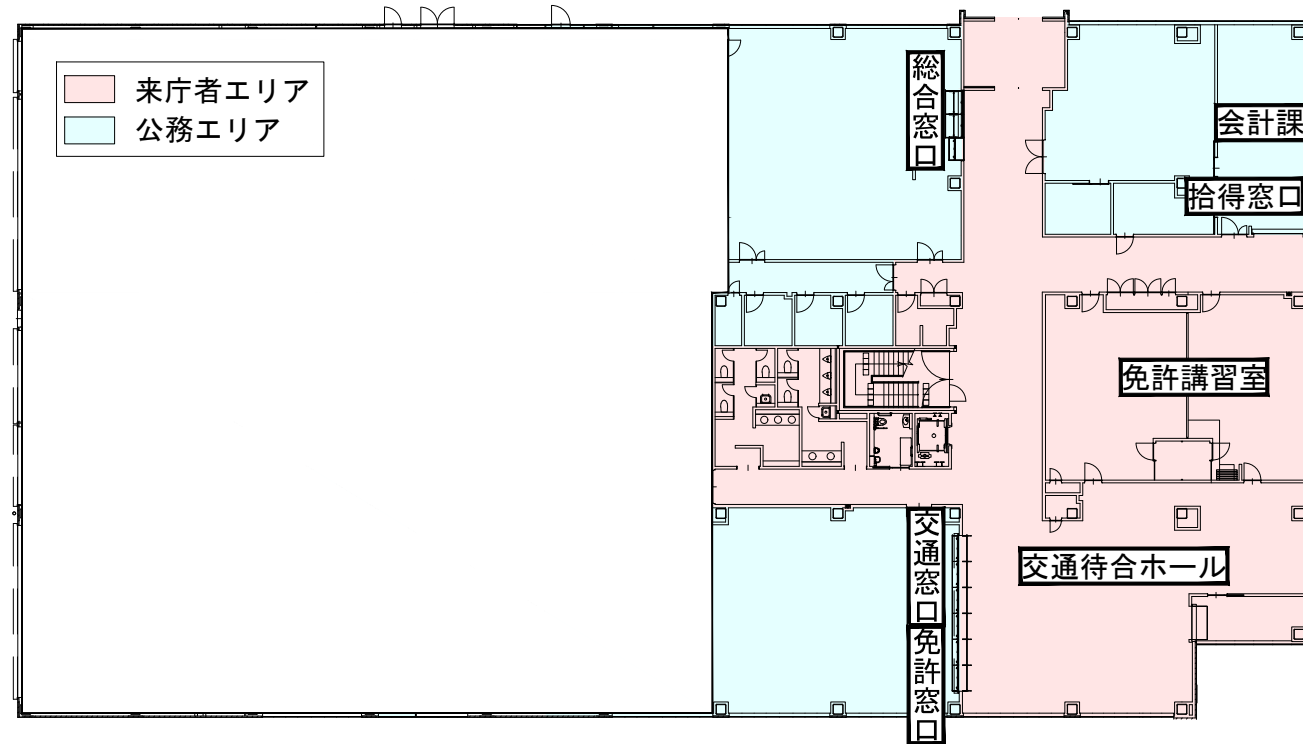
3-06 デザイン計画

- 地域景観と調和しつつ、存在感のある外観とすることで、住宅街に安心感を与えます。
- みかわち焼きをモチーフにしたルーバーは、採光、遮光、通風等の本来の機能に加えて、逃走防止の役割を担うことで、セキュリティの向上を実現します。



3-07 平面計画

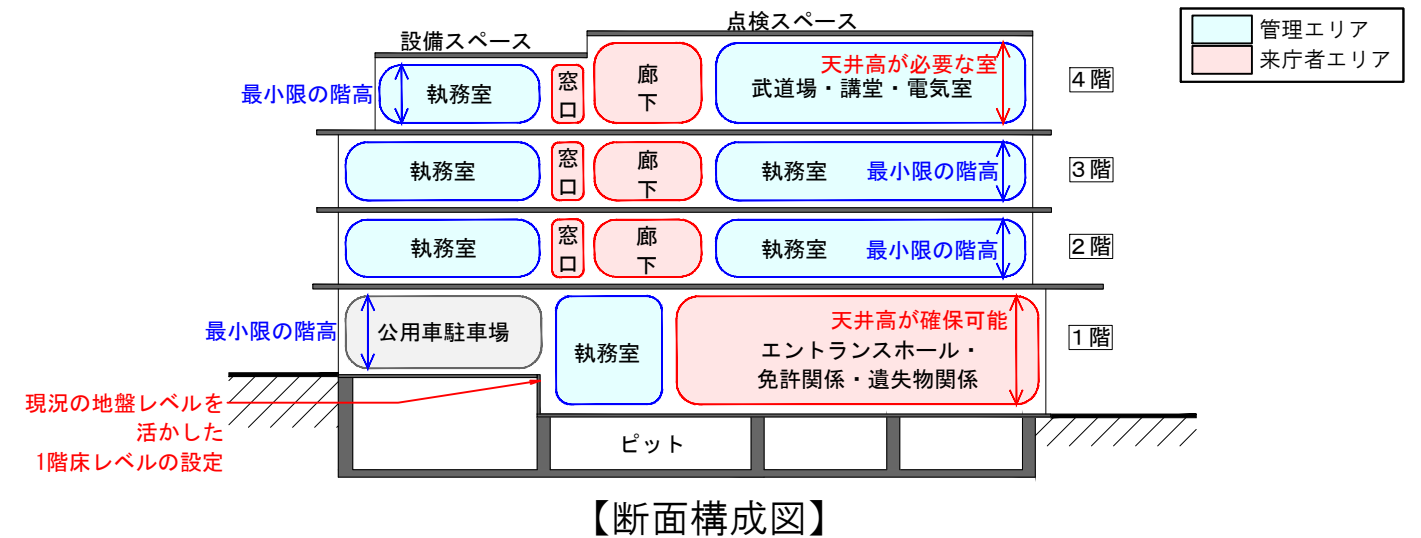
- 来庁者エリア、公務エリアを明確に区分し、分かりやすく機能的な計画とします。
- 利用者が多い免許窓口、拾得窓口等については、1階の来庁者エリアに配置し、その他窓口についても各階の来庁者エリアに配置します。



【1階平面計画】

3-06 断面構成

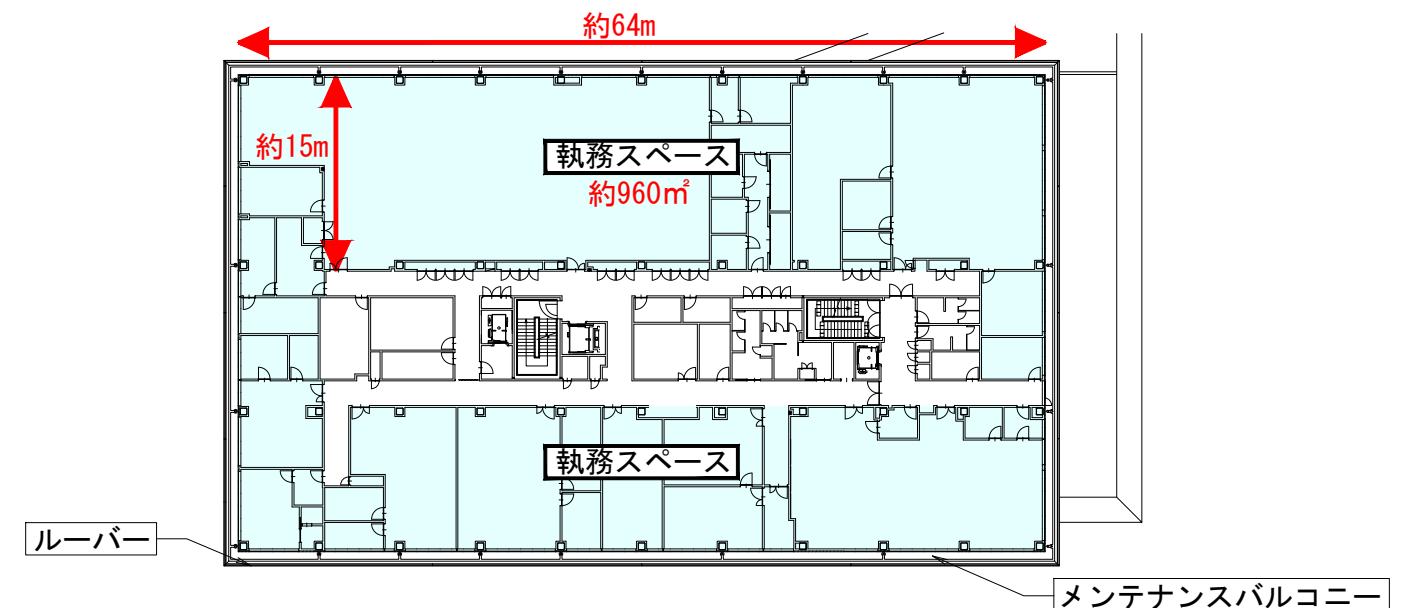
- 来庁者の多いエリアを1階に配置し、利用者の移動が少なく利便性の高い計画とします。
- 高さが必要な武道場や講堂は4階にまとめて配置し、階高を最適化します。



【断面構成図】

3-04 環境への配慮

- 外部熱負荷低減に最適な東西に長い建物形状とし、ルーバーによる日射抑制、屋根・外装の断熱性向上により、消費エネルギーを抑え、CO₂排出量を削減します。



【基準階平面構成図】